

年度別

11

平成 11 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

(1) $(-9) \div 3 - 4$ を計算しなさい。

(2) $\sqrt{18} + \sqrt{2}$ を計算しなさい。

(3) 方程式 $5x - 1 = 7x + 9$ を解きなさい。 [実際は「不等式 $5x - 1 > 7x + 9$ を解きなさい。」として出題されました。]

(4) 二次方程式 $x^2 - x - 7 = 0$ を解きなさい。

(5) 連立方程式 $\begin{cases} 4x - y = 6 \\ 3x + 2y = -1 \end{cases}$ を解きなさい。

(6) 関数 $y = x^2$ で、 x の値が -3 から -1 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

年度別

12

平成 12 年度

自己評価

/ 6

A・B・C

(1) $7 - 2 \times (-3)$ を計算しなさい。

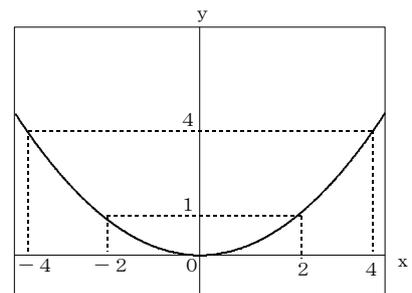
(2) $5\sqrt{7} - \sqrt{28}$ を計算しなさい。

(3) 方程式 $x - 6 = 4x + 3$ を解きなさい。 [実際は「不等式 $x - 6 > 4x + 3$ を解きなさい。」として出題されました。]

(4) 二次方程式 $x^2 + 5x - 3 = 0$ を解きなさい。

(5) 連立方程式 $\begin{cases} 2x + y = -1 \\ x - 3y = -4 \end{cases}$ を解きなさい。

(6) 右の図の曲線は、 $y = ax^2$ のグラフです。
グラフから、 a の値を求めなさい。



年度別

13

平成 13 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

(1) $(-3) \times 4 - 2$ を計算しなさい。

(2) $\sqrt{12} + \sqrt{3}$ を計算しなさい。

(3) 方程式 $3x + 1 = 5x - 5$ を解きなさい。 [実際は「不等式 $3x + 1 < 5x - 5$ を解きなさい。」として出題されました。]

(4) 二次方程式 $x^2 + 3x - 6 = 0$ を解きなさい。

(5) 連立方程式 $\begin{cases} 3x - y = 8 \\ 5x + 2y = 6 \end{cases}$ を解きなさい。

(6) 関数 $y = x^2$ で、 x の値が 1 から 3 まで増加するときの変化の割合が、一次関数 $y = ax + 2$ の変化の割合と等しくなりました。
このとき、 a の値を求めなさい。

年度別

14 平成 14 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

(1) $(-8) \div 2 - 1$ を計算しなさい。

(2) $\sqrt{2} + \sqrt{50}$ を計算しなさい。

(3) 方程式 $2x - 1 = 5x - 7$ を解きなさい。 [実際は「不等式 $2x - 1 < 5x - 7$ を解きなさい。」として出題されました。]

(4) 二次方程式 $x^2 - 5x + 2 = 0$ を解きなさい。

(5) 連立方程式 $\begin{cases} 10x - 3y = 8 \\ 3x - y = 2 \end{cases}$ を解きなさい。

(6) 関数 $y = -x^2$ で、 x の値が 1 から 3 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

年度別

15

平成 15 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

(1) $7 + (-2) \times 3$ を計算しなさい。

(2) $3\sqrt{3} - \sqrt{12}$ を計算しなさい。

(3) $x = 17$ のとき、 $x^2 + 6x + 9$ の値を求めなさい。

(4) 二次方程式 $(x - 5)^2 = 21$ を解きなさい。

(5) 連立方程式 $\begin{cases} 5x + 2y = -3 \\ 2x - y = 6 \end{cases}$ を解きなさい。

(6) 関数 $y = 2x^2$ で、 x の変域が $-1 \leq x \leq 2$ のとき、 y の変域を求めなさい。